

GENERAL PAUSE

1月は行く。2月は逃げる。3月は去る。とはよく言ったもので、インフルエンザに感染しているうちに、気づけば2月になっておりました。今年はインフルエンザが流行っているらしいので、皆様、手洗うがいをしっかりとしてくださいね。

ということで2月号です。実は今月号でGPも50号となりました。

2018年2月の練習予定

*2月のレギュラーの練習予定です。

月	練習日	時間	曲目
2月	1日	19:30～	Fly me to the moon.
		20:15～	双頭の鷲の旗の下に・マズルカ
	8日	19:30～	双頭の鷲の旗の下に・マズルカ
		20:15～	Fly me to the moon.
	15日	19:30～	Fly me to the moon.
		20:15～	双頭の鷲の旗の下に・マズルカ
22日	19:30～	双頭の鷲の旗の下に・マズルカ	
	20:15～	Fly me to the moon.	
3月	1日	19:30～	合奏
	8日	19:30～	合奏

・公民館まつりについて

2018.4.15 (日) 於：男山公民館

演目

双頭の鷲の旗の下に

コッペリアより「マズルカ」(前奏曲とマズルカでは無い方の曲)

Fly me to the moon.

他、この3曲の他に、「尚美のトレーニング」を挟みながら練習を進めます。遅くなっても、少しでも練習に参加できるように調整してください。

演目の楽曲紹介について

・双頭の鷲の旗の下に（ヨーゼフ・フランツ・ワーグナー作曲）

小学校の音楽（おそらく小学5年生）の授業で習い、運動会のBGMでもおなじみの行進曲。

ワーグナーが当時オーストリア＝ハンガリー帝国の軍楽隊の隊長だった時に作曲した行進曲。曲名の「双頭の鷲」は、同国のシンボルであったとか。変ホ長調の楽曲は、トリオで変イ長調に変わる。

・コッペリアより「マズルカ」（ドリーブ作曲）

動く人形を題材にしたバレエ音楽。今回演奏するのは、第1情景の第4曲で演奏される「マズルカ」。

ポーランドの農村が舞台。人形作り職人のコッペリウスは陰気で気難しく、村人から変人扱いされていた。彼の家の二階のベランダでは、コッペリウスが作ったからくり人形の少女、コッペリアが座って本を読んでいる。しかし、村人はコッペリアが人形であることを知らない。コッペリウスの向かいに住むスワニルダは明るく無邪気な人気者の少女。村の青年フランツとは恋人同士である。しかし最近フランツは、かわいらしいコッペリアが気になる様子。それに気づいたスワニルダはやきもちを焼いてしまう。これがきっかけで二人は喧嘩してしまう……。というあらすじ。

ちなみに、マズルカとは3/4拍子のポロネーズに並ぶポーランドの民族舞踏の形式。

・Fly me to the moon.

In other words（言い換えると。）が原題でももとは4/3拍子の曲。初演は1954年のニューヨークのキャバレーで初演されたとか。ボサノバ風の4/4拍子に書き換えられたのは、8年後のことで、今ではそのスタイルがよく知られている。日本では、アニメのエンディングテーマや、ウイスキーのCMでBGMに使われるなど、多くの人が耳にしている楽曲である。

総会が終わりました。

2018.1.18に総会がありました。

役割分担、2017年の会計決算及び監査報告、年間活動計画、公民館サークル登録についての話があり、無事に認可可決しました。

なお、役割分担については、一部担当者が決まっていない係があります。当吹奏楽団では「1人1係」を担当し、全員で運営している吹奏楽団を目指していますので、「私こそはこの係を。」という申し出を待っております。